

「反暴力」の共生社会をめざして

—福祉 (well-being) の実現と地方自治・住民自治—



記念講演

佛教大学名誉教授 **鈴木 勉**

広島女子大学 (現・県立広島大学) 講師、助教授、教授
佛教大学教授

とき **2023年1月22日(日)**

13:30~17:00

ところ **広島市ひと・まちプラザ 研修室C**
広島市中区袋町6-36

特別報告

- ① 広島市放課後児童クラブ有料化は許せない
(広島市学童保育連絡協議会 田中 富範)
- ② 広島県の教育を歪める平川教育長「官製談合」
(今谷 賢二)



講師からのメッセージ

「共生社会」とは、「直接的暴力である戦争」を否定する {平和}、「構造的暴力である貧困・抑圧・差別」を根絶する「福祉」と「平等」の3つの理念によって成り立つ社会であると考えます。この理解は、「全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有する」とした憲法前文の「平和的生存権」規定に通底しています。現政権は国際情勢の悪化を理由に、「敵基地攻撃能力」保持のため軍事費の増額を図ろうとしている。その調達にあたっては、猛烈な福祉カットと増税が待ち受けている。平和的生存権がかかっていない危機に瀕する現在、人々の人間らしい暮らし (well-being) の実現の方途を、地方自治・住民自治に基礎を置く「共生社会」形成の課題との関係で考えたい。